

2017年4月1日

レーザー誘導方式無人フォークリフト

「**PLATTER Auto** (プラッターオート)」を新発売

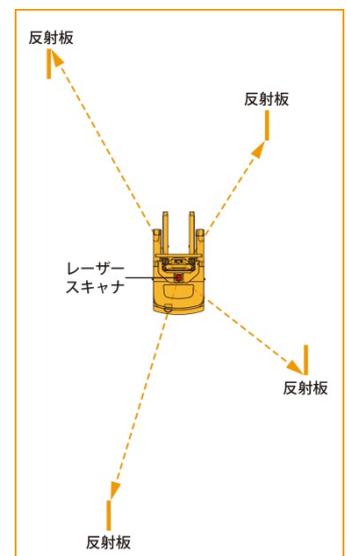
ニチユ三菱フォークリフト株式会社（本社：京都、社長：二ノ宮秀明）は、2017年4月1日に、レーザー誘導方式無人フォークリフト「**PLATTER Auto** (プラッターオート)」を全国のニチユ三菱販売店を通じて、発売開始いたします。

現在の生産・物流現場においては、人手不足の解消が、重要な課題となっています。この状況を背景に、省人化・自動化・無人化のニーズは高まってきており、無人フォークリフトの需要は、ますます高まっています。

このたび発売する新商品レーザー誘導方式無人フォークリフト「**PLATTER Auto** (プラッターオート)」は、従来の磁気誘導方式では走行ルートの床面に磁気棒の埋設工事が必要となりますが、本商品は、レーザースキャナで反射板を検出し自分の位置を把握して走行する、誘導埋設工事のいらぬ「レーザー誘導方式」を採用しています。これにより、導入時に床面工事が不要となるため、床工事ができない物流現場への導入が可能です。

導入時のメリットとして、従来の磁気誘導方式に対し、工事費用の削減が図れるほか、工事期間の短縮が可能となります。また、導入後、走行ルートの変更が必要になった場合、容易に変更が可能です。

商品の主な特長は、以下の通りです。



写真：FBR15-MG80LA-300（1,500kg積み、3m揚高マスト装着車）

1. 商品名 レーザー誘導方式無人フォークリフト「PLATTER Auto (プラッターオート)」

2. 主な特長

1) レーザー誘導方式の採用

- レーザーキャナが反射板を検出し自分の位置を把握して走行する、誘導埋設工事のいらぬ「レーザー誘導方式」を採用。

2) 床面施工が不要

- 従来の磁気誘導方式と比べ、床面施工が不要となることによる導入メリットは以下の通り。

- ① 床工事不可の物流現場（貸倉庫等）への導入が可能
- ② 工事費用の削減が図れること
- ③ 工事期間の短縮が図れること
- ④ 施工時、床のカッティング工事を行わないため発塵が無く、クリーンな環境で導入が可能

3) レイアウト変更が容易

- 従来の磁気誘導方式は、ルート全域に対し床面工事をするため、導入後の走行ルートの変更が困難であったが、レーザー誘導方式は床面の施工を必要としないので、フレキシブルにルート変更が可能。
(ソフト改造費が必要となります)